

科目	都市交通計画学 (Traffic Planning Engineering)		
担当教員	日下部 重幸 非常勤講師		
対象学年等	都市工学科・5年・後期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	A4-1(85%) A4-4(15%)	JABEE基準1(1)	(d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	主として道路関係について学習させる。まず道路の社会的役割について認識を深めさせ、次に道路の新設・改修に当たっての調査・計画および計算方法を習得させる。さらに、基礎知識を基に道路構造令に即した計画、施工、管理に関する事項を習得させる。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-1】道路に関する技術用語を理解し、それらを他者に説明できる。		道路に関する技術用語の理解と他者への説明方法をレポートとして提出させるとともに中間試験および定期試験で評価する。
2	【A4-1】道路の新設、改良などの手法を学び、それらに関する計画・設計などの基本を習得する。		道路の新設、改良などに関する計画・設計などの基本をレポートとして提出させるとともに、中間試験および定期試験で評価する。
3	【A4-4】道路の維持・管理・評価法などを理解し、問題解決に取組む方法を習得する。		道路の維持・管理・評価法など、レポートとして提出させるとともに、定期試験で評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70%、レポート30%として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「道路工学」：姫野賢治，他4名著 (理工図書)		
参考書	「道路構造令の解説と運用」：日本道路協会編 (丸善)		
関連科目	関連科目：土質力学，数理計画学		
履修上の注意事項	道路の新設・改良計画において、地盤支持力や土工の理論，統計・確率の理論を用いた計画や設計手法を学ぶ。		

授業計画 1 (都市交通計画学)

週	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	概説, 生活と道路	道路の歴史, 機能, 経済の問題など, 本教科を学ぶ意義を理解させる.
2	交通量調査, OD調査, 道路と情報	道路計画に必要な調査法を学ばせる.
3	交通流, 交通容量	ポアソン分布について理解させる. 課題を出題して提出させる.
4	交通流, 交通容量	ポアソン分布について理解させる. 課題を出題して提出させる.
5	交通流の流体力学的取り扱い	道路交通の渋滞現象について理解させる. プリント配布. 課題を出題して提出させる.
6	交通流の流体力学的取り扱い	道路交通の渋滞現象について理解させる. 課題を出題して提出させる.
7	交通容量	交通容量について理解させる.
8	中間試験	7週までに学んだ事項について出題する.
9	道路構造令による道路の構造基準, 横断面の構成	道路構造令の内容を理解させる. 課題を出題して提出させる.
10	道路構造令による平面線形, 緩和区間視距	道路構造令の内容を理解させる.
11	道路構造令による縦断線形, 視距, 道路の交差	道路構造令の内容を理解させる. 課題を出題して提出させる.
12	道路の舗装	道路の舗装について理解させる.
13	舗装の構造	舗装の構造について理解させる. 課題を出題して提出させる.
14	道路の排水施設	道路の排水施設について理解させる.
15	道路の景観, 維持・修繕	道路の景観, 維持・修繕について概要を理解させる.
備考	後期中間試験および後期定期試験を実施する. 計算課題を時間中にも実施することがあるので, 電卓を持参すること.	